

健幸都市くさつの推進に向けて

～草津市健幸都市づくり基本方針に係る令和5年度の実績、評価

および令和6年度の実績状況について～

令和6年12月
健康福祉政策課



< 全体指標 >

① 健康寿命の延伸

(歳)

	R2(当初)	R4(今回実績)	R14(最終目標)
男	82.58	82.24	83.66
女	85.92	85.16	86.60

※健康寿命は「日常生活動作が自立している期間の平均」(客観的指標)を採用しています。

② 健幸に暮らせていると思う市民の割合

(%)

R2(当初)	R5(今回実績)	R14(最終目標)
—	66.3	60.0

健康寿命は、その年における比較的若い年代の死亡者数の増加等によっても影響を受けるため、単年度ではなく中長期的な視点で捉える必要があります。本市においては、全国の値と比較して高い値となっていますが、ここ数年、伸び悩む状況が続いています。健康寿命を延伸するためには、骨折・転倒、関節疾患等を防ぐことや生活習慣の改善により、循環器疾患(脳卒中と心疾患)、認知症、高齢による衰弱(フレイル)を予防することが重要であり、様々な場面(政策分野)で、健康啓発や生活習慣の改善につながる取組を推進し、市民一人ひとりの健康づくりを支援・促進していく必要があります。

従前の健幸都市基本計画(H29-R4)では【草津が「健幸なまち」だと思ふ市民の割合】としており、設問の健幸の対象を「まち」から「回答者個人」に変更して以降、初めての調査結果です。目標値60.0%に対して令和5年度の実績は66.3%と草津市民の暮らしに対する満足度は高いという結果になりました。評価1年目であるため、ただちに目標値の見直しは行いませんが、今後については、目標値の見直しも含め、草津市総合計画において参考指標として新たに取り入れるWell-being(ウェルビーイング)指標も参考にしながら、「健幸都市くさつ」の実現に向けた取組を推進していくことが大切だと考えます。

< バロメーター(参考指標) >

・市民主役のまちづくりが進んでいると思う市民の割合

指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	R5目標値に対する目標達成度
市民主役のまちづくりが進んでいると思う市民の割合(%)	%	目標値		23.0	24.5	26.0	27.5	90.4%
		実績値	17.3	20.9	19.1	23.5		

令和5年度の目標達成度は90.4%と未達であったものの、地域主体の取組により多様な世代の交流等を図るとともに、事例の紹介や助言をすることにより、まちづくりの拠点を活かした学びやにぎわいなどの充実を図ることができました。

・「まちづくり情報の提供の充実」に満足している市民の割合

指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	R5目標値に対する目標達成度
「まちづくり情報の提供の充実」に満足している市民の割合(%)	%	目標値		16.0	16.6	17.2	17.8	107.0%
		実績値	15.4	18.5	18.3	18.4		

まちづくり情報の充実のため、まちづくり資料集の配布や町内会長個別訪問、市公式SNSなど、対象者に合わせた多様な手法による情報発信を行った結果、令和5年度の目標値を達成することができました。

・「市民の健康づくり」に満足している市民の割合

指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	R5目標値に対する目標達成度
「市民の健康づくり」に満足している市民の割合(%)	%	目標値		27.5	30.5	33.5	36.5	101.2%
		実績値	26.5	34.6	36.6	33.9		

市民の「健康づくり」への関心を更に高めるとともに、心身の疾病予防等に向けた主体的な取組がより一層展開されるよう、様々な主体との連携による取組を進めた結果、令和5年度の目標値を達成することができました。

・「福祉の総合的な相談・支援の充実」に満足している市民の割合

指標	単位		R2	R3	R4	R5	R6	R5目標値に対する目標達成度
「福祉の総合的な相談・支援の充実」に満足している市民の割合(%)	%	目標値		17.4	17.8	18.2	18.6	105.5%
		実績値	17.0	19.3	17.5	19.2		

複合的な生活課題を抱える人、ひきこもりや生きづらさを感じている人・世帯の早期発見に努め、様々な福祉課題に対して関係機関等と連携した相談支援体制の構築を図った結果、令和5年度の目標値を達成することができました。



「健幸都市づくり」主な関連事業



■ 令和5年度の実績・評価 および 令和6年度の実績状況

◆ みんなでぐくむ健幸づくり

〈健幸イベントの開催〉

- 〈R5〉 体験型健幸イベントである「みんなの健幸フェア」「びわこ・くさつ健幸フェスタ」を開催した結果、健幸への意識・関心が低い方々に対しても、健幸づくりに取り組むためのきっかけを提供することができました。
(R5来場者数：健幸フェア2,398名、健幸フェスタ13,017名 / R4来場者数：健幸フェア1,267名、健幸フェスタ5,010名)
- 〈R6〉 「みんなの健幸フェア」を10月6日に市制施行70周年事業として規模を拡大して実施した結果、来場者数が大幅に増え、より幅広い方々に健幸づくりの働きかけを行うことができました。「びわこ・くさつ健幸フェスタ」についても、市制施行70周年事業として11月10日に開催し、㈱平和堂とタイアップした「ベジチェック測定会」を実施するなど、企業との連携強化にも取り組んでいます。

〈健康診査・各種けん診〉

- 〈R5〉 がん検診の受診率向上にむけ、医療機関での個別検診及び特定健診との同時受診が可能な集団けん診を行い、集団けん診については実施回数を拡大するとともにweb予約を導入しました。また、ナッジ理論を活用し、大腸がん検査キット送付を行ったほか、子宮頸がん、乳がん検診の節目年齢の対象者に無料クーポン券を送付するなど、対象者に合わせた受診勧奨を行いました。そのほか、映画館や市公式SNSアカウントでがん検診啓発動画を放映し周知啓発を行った結果、病気の予防と早期発見に資する取組を進めることができました。
(R5実績：がん検診受診率 胃(50歳以上) 3.1%、肺(40歳以上)7.6%、大腸(40歳以上) 6.5%、子宮(20歳以上女性) 14.3%、乳(40歳以上女性)11.9% / R4実績：胃(50歳以上) 2.8%、肺(40歳以上) 8.1%、大腸(40歳以上) 7.0%、子宮(20歳以上女性) 16.5%、乳(40歳以上女性)13.8%)
- 〈R6〉 引き続き対象者に合わせたがん検診の受診勧奨を行うとともに特定保健指導利用向上のための訪問を新たに行い病気の予防・早期発見に繋がります。
- 〈R5〉 特定健康診査を個別健診と集団けん診(10回)で実施するとともに、対象者の特性に合わせた受診勧奨通知を送付(約3万件)した結果、対象者の37.9%に受診いただくことができました。(R4受診率 39.1%)
- 〈R6〉 従来の取組と併せて託児サービスや電子申請を活用することにより、若い世代のけん診受診率の向上に取り組めます。また、生命保険会社との連携協定により、受診率向上に向けた保険外交員による周知啓発や集団けん診会場での健康啓発ブースの設置を行う予定をしています。



「健康都市づくり」主な関連事業



■ 令和5年度の実績・評価 および 令和6年度の実績状況

〈健康診査・各種けん診〉

- 〈R5〉 後期高齢者健康診査の受診率向上のため、広報やリーフレットによる受診勧奨を行った結果、対象者の35.5%に受診いただくことができ、県全体の受診率31.1%を上回ることができました。（R4受診率 31.2%）
- 〈R6〉 滋賀県後期高齢者医療広域連合の対象見直しにより、対象者が大幅に増加するため、引き続き受診勧奨に努めます。

〈子育て支援〉

- 〈R5〉 新生児訪問事業により対象者数の98.3%の家庭を訪問した結果、養育者の心身の状況を把握することができ、支援が必要なケースに対しては、訪問や電話、母子保健事業を通じた継続的な支援を行うことにより、育児等に関する相談、指導等を実施することができました。（R5訪問件数 1,094件 / R4訪問件数1,045件）
- 〈R6〉 育児への助言等を行うことにより、不安の軽減を図るとともに、育児支援の必要なケースを早期発見し、適切な子育て支援サービスや継続支援につなげます。（訪問見込件数 1,150件）

〈子ども・若者の居場所づくり〉

- 〈R5〉 子ども・若者総合相談窓口における悩みの受け止めや子ども・若者支援協議会の運営に取り組むとともに、子ども・若者ケアラーへの支援として、モデル事業を実施しました。また、不登校やひきこもり等の課題を抱える子ども・若者を対象とした居場所を設置したことにより、社会参加や自立に向けたステップを歩めるよう支援を進めることができました。（子ども・若者ケアラー支援のモデル事業として配食支援制度開始（8月～）、ヘルパー派遣制度開始（10月～）、子ども・若者の居場所の開設・運営（8月～））
- 〈R6〉 子ども・若者総合相談窓口における悩みの受け止めや子ども・若者支援協議会の運営、子ども・若者ケアラーへの支援、子ども・若者の居場所運営事業を継続するとともに、事業内容の改善に向けた検討を行います。また、子ども食堂運営者が安心して継続運営するための環境を整えます。

〈高齢者の生きがいづくり〉

- 〈R5〉 老人クラブや地域サロンの活動支援を行った結果、高齢者の社会参加や生きがいづくりにつなげることができ、高齢者福祉の増進を図ることができました。
（R5実績 老人クラブ数：37団体、地域サロン数：148団体 / R4実績 老人クラブ数：40団体、地域サロン数：157団体）
- 〈R6〉 高齢者の生きがいづくり・仲間づくり・健康づくり等を行う老人クラブの活動を支援するとともに、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活し、社会交流の活性化を推進できるよう地域サロン活動の支援を行います。



「健幸都市づくり」主な関連事業



■ 令和5年度の実績・評価 および 令和6年度の実績状況

〈フレイル予防〉

- 〈R5〉 ポピュレーションアプローチ※¹として、地域の通いの場等に出向き、フレイル予防や生活習慣病予防に関する講話や保健指導を実施したほか、ハイリスクアプローチ※²として、保健師等の専門職による口腔機能リスク者や健康状態不明者に対する健康状態の把握と保健指導等を行った結果、高齢者の健康づくりの推進と疾患等の重症化予防に努めることができました。
(R5実績 フレイル講座(保健師)：14回 284人、オーラルフレイル講座(歯科衛生士)：13回 192人、おでかけリハ職(理学療法士・作業療法士)：17回 267人、おでかけ栄養士：9回 130人 / R4実績 フレイル講座(保健師)：11回 165人、オーラルフレイル講座(歯科衛生士)：8回 154人、おでかけリハ職(理学療法士・作業療法士)：14回 234人、おでかけ栄養士：6回 94人)
- 〈R6〉 引き続きポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチを併用した保健指導等を行うことにより、高齢者の健康づくりの推進と疾患等の重症化予防を図ります。

※1 ポピュレーションアプローチ・・・健康リスクの有無にかかわらず、集団に対して働きかけること。

※2 ハイリスクアプローチ・・・健康リスクを抱えた「個人」に働きかけること。

◆ 健幸につながるまちづくり

〈重層的支援体制整備事業〉

- 〈R5〉 多機関協働として人とくらしのサポートセンターが総合調整役となり、関係課・関係機関で支援チームを構成し、それぞれの役割分担や支援の方向性を検討するコーディネート会議を実施したほか、自ら支援につながる方が難しい方に対し、長期的な寄り添いによるアウトリーチ支援事業や参加支援事業等を一体的に実施した結果、複雑化・複合化した課題がある世帯や狭間の課題があるケースに対して包括的な支援体制を構築することができました。
(R5実績(新規事業) コーディネート会議 開催回数 40回)
- 〈R6〉 多機関協働事業により既存の支援関係機関のサポートや役割の調整を行うとともに、アウトリーチ支援事業や参加支援事業等を一体的に実施することにより、包括的な支援体制の構築に取り組みます。

■ 令和5年度の実績・評価 および 令和6年度の実績状況

〈地域公共交通網の充実〉

- 〈R5〉市内の交通不便地における移動手段を確保し、地域の活性化を図るため、コミュニティバス「まめバス」の運行およびデマンド型乗合タクシー「まめタク」の運行を行うとともに、バス事業者の運転者不足や労働時間改善基準の改正による「2024年問題」等により、令和6年4月からの運行継続が困難となっていたまめバス「笠縫東常盤線」および「山田線」について、路線の再編を検討しました。その結果、令和6年4月から当該まめバス路線を一部短縮することで運行を継続するとともにまめタクを笠縫東学区・常盤学区で4路線、山田学区で3路線を新たに導入することとし、交通不便地の解消に向けた交通まちづくりの推進を図ることができました。
- 〈R6〉草津市地域公共交通網形成計画の発展版として、草津市地域公共交通計画を策定するほか、まめバスにおいてキャッシュレス決済や検索・乗降カウントシステムを導入する予定です。

〈大学との共同研究〉

- 〈R5〉立命館大学の協力の下で「働き世代の健幸」に関する共同研究や、市民に「歩いてもらうための仕掛けづくり」を検討するためのウォーキングモデル事業を実施した結果、市民の行動変容を促し、健幸づくりに取り組んでもらうための方策を検討する上で必要なエビデンスの取得や課題の抽出、取組の方向性の整理等を行うことができました。
- 〈R6〉引き続き「働き世代の健幸」に関する共同研究として、R5年度のデータを活用のうえ、働き世代を被験者（75名）とした運動介入を実施し、心身の健康状態を表す「簡易的な指標（FOV）」と連動した効果的な運動プログラム等の開発に取り組めます。

〈「健幸都市くさつ」広報・啓発事業〉

- 〈R5〉市民が健幸づくりに取り組むためのきっかけづくりや、環境づくりを行うため、広報・啓発事業として、啓発用プロモーション動画の制作および映画館での放映、横断幕や日めくりカレンダーの作成等に取り組んだ結果、幅広い方に健幸都市づくりの取組を知っていただき、「健幸都市くさつ」の効果的な啓発・周知（情報発信）につなげることができました。
(R5実績 啓発動画3本、横断幕・懸垂幕各1枚、缶バッジ1,500枚、日めくりカレンダー3,000冊、ウェットティッシュ1,400枚／ R4実績 マグネットシート1,000枚、携帯用消毒液500個)
- 〈R6〉新たに健幸都市くさつ公式SNSを立ち上げ、より多くの方に健幸都市づくりの取組を知っていただくとともに、健幸づくりのきっかけとしていただけるよう取り組みを進めます。